



人生の最終目標は、社会貢献  
大きな目標があるから頑張れる

赤字企業を再生させ、上場企業2社の代表を経験したのち起業するなど、華やかな経歴をお持ちの村原志保さん。

たまたまご縁があってと謙遜する相原さんですが、そこには離婚を乗り越え、主婦ならではの気配りと人の縁を大切にする心がありました。一主婦だった人がどのように上場企業のトップになつていったのか。その経緯を伺いました。

仕事かミッションを手探がすには必死にやつてきただけ

二

から上京し、キャリアのスタートはアルバイトから。離婚してSOSを出したところから、歯車が回り始めたといいます。

「アルバイトをしているときはいろいろありました。ある出版社の人事部のアルバイトでは、間違って履歴書をシュレッダーにかけてしまったり。そんな情けないことがたくさんあって。29歳で離婚したんですけど、どうしようかと途方に暮れてしまつて。子どもが2人いましたし、子どもを食べさせるためにどんなことをしても働かないといけなかつた。東京の知り合いは元主人の友達しかいなくて、思い切つて相談したら、アルバイト先を紹介してくれました。そこでもいろいろと失敗はしました

”失敗は成功の基“ というけれど、失敗を重ねながらも一つひとつ、階段を上っていく相原さん。その後、面接を受けて入社したのがイギリス最大の陶磁器メーカー、ロイヤルドルトン・ドットウェル。そしてその次は、ヘッドハンティングでエフマイアミ商事（現プラダジャパン）へ。

「たまたま前の会社で催事をやつたときと一緒になったんです。主婦だったのでも気配りだけはできるから。細かいところまで手を抜かずにやっていると、いうことで、目をかけてもらったようです。英語を話せる訳でもないし、MBAの資格も持っていないのに、気が利くからという理由で。そして外資系商社にいるから、きっと英語ができる

NPO法人  
ニューホライズンプロジェクト  
理事長

相原 志保さん



中で立ち回るのは難しい。そんな中、家庭と子育ての両立の中でキャリアアップしていきます。

「私はたまたま運が良かった。ベンチヤーで立ち上げて、今でこそ大きな企業になったSBIグループですが、会社 자체、男女、学歴、人種とか差別なく登用する土壤でしたから。一般的の日本の企業だったら今の私はないと思います」

まだ根強く残る男性優位の社会。その中で女性の地位を切り拓いていくにはどのような組織づくりが必要なのでしょう。

「まずは女性をひとくくりにしないこと。女性の中にもキャリアアップをしたい人で家庭と両立をしている人がいる。また、その中でも家庭を第一に考えるゾーンがあります。その人についたセグメントを分けて仕事の割り振りをしてきました。やがて皆がタイアップしていくような、企画を待っているのではなく出し合って一緒に作つてくくらいの組織になればいいなと思うようになりました。50歳を過ぎたら、あとの人生はオマケみたいなものだと思つて社内調整に努めました」

SBIに入社してから12年。相原さんは、一社員からグループ企業の代表取締役まで務めながらも一線を退き、自身の資本で起業。そして同年、長年SBIに入社してきたNPO法人ニューホライズンプロジェクトを設立。自身の生い立ちからの社会的意義についての啓蒙活動で立ち上げました。

――大企業の代表など役職を務めてきた相原さんが、自身の会社を自身の資本で立ち上げるという決断をされた一番の理由は何ですか

他人の家の中に自分好みの部屋は作れないというのが結論です。例えば、ホテルに行つたらいい思いもするし、さまざまなサービスを受けられます

が、100%自分に必要かといえばそうではない。50歳を過ぎたら、あの人生はオマケみたいなものだと思つてますから、会社員時代のこうしたらよかつたという反省も踏まえて、自由に自分の責任で仕事をしたいというの

――起業を考えている女性に、何かアドバイスはありますか

私は、会社員の後に起業することになりましたが、会社員をやっていてよかったです。だから起業して、その先に何があるのかといふ、最終目標をきっちりと決めておけば軸がぶれないと思っています。

## 幼少時代の苦しくて悲しい思いを経験したからこそ小さなことでも社会貢献がしたい

長年、会社員生活を経験し、上場企業2社の代表を務めながら、代表職を退いて他企業へ移ったきっかけとは。また、社会貢献に力を注ぐ理由を伺うと、相原さんの過去の悲しい出来事が原動力になっていました。

したことが売りになるんです。いきなり大学生から起業してうまくいく人も

いますが、起業するのに不安を感じて迷っているのなら、一度どこかの会社に入つてみてもらいかもしれません。その上で、会社の中で何かもつたいないと感じたり、もっと細かいことがで起きるのではないかいろいろ見えてくると思うんです。何もないところで起業すると、視野が狭くなり、ネットの情報を鵜呑みにしてしまったり、自分が都合のいいことだけを頭に入れてしまうような気がします。

起業ブームもあって女性が自分の好業すると、視野が狭くなり、ネットの情報を鵜呑みにしてしまったり、自分が都合のいいことだけを頭に入れてしまうような気がします。

したことが売りになるんです。いきなり大学生から起業してうまくいく人もいますが、起業するのに不安を感じて迷っているのなら、一度どこかの会社に入つてみてもらいかもしれません。その上で、会社の中で何かもつたいないと感じたり、もっと細かいことがで起きるのではないかいろいろ見えてくると思うんです。何もないところで起業すると、視野が狭くなり、ネットの情報を鵜呑みにしてしまったり、自分が都合のいいことだけを頭に入れてしま

うます。り大学生から起業してうまくいく人もいますが、起業するのに不安を感じて迷っているのなら、一度どこかの会社に入つてみてもらいかもしれません。その上で、会社の中で何かもつたいないと感じたり、もっと細かいことがで起きるのではないかいろいろ見えてくると思うんです。何もないところで起業すると、視野が狭くなり、ネットの情報を鵜呑みにしてしまったり、自分が都合のいいことだけを頭に入れてしま

うます。り大学生から起業してうまくいく人もいますが、起業するのに不安を感じて迷っているのなら、一度どこかの会社に入つてみてもらいかもしれません。その上で、会社の中で何かもつたいないと感じたり、もっと細かいことがで起きるのではないかいろいろ見えてくると思うんです。何もないところで起業すると、視野が狭くなり、ネットの情報を鵜呑みにしてしまったり、自分が都合のいいことだけを頭に入れてしま

## 目標を達成するための秘訣



1

2

### 1 最終目標を持つこと

私の最終目標は、NPO法人 ニューホライズンプロジェクトで余生を過ごしたいということです。大きな目標があるからこそ頑張っていられる。だから起業して、その先に何があるのかといふ、最終目標をきっちりと決めておけば軸がぶれないと思っています。

2

### 2 最終目標を持つこと

私の最終目標は、NPO法人 ニューホライズンプロジェクトで余生を過ごしたいということです。大きな目標があるからこそ頑張っていられる。だから起業して、その先に何があるのかといふ、最終目標をきっちりと決めておけば軸がぶれないと思っています。

るだろうという思い込みで、元主人の友達から外資系証券会社に誘われて入ったんです」その後外資系証券会社をソフトバンクインベストメント（以下SBI）が買収しました。

「SBIに入ろうと頑張ったわけではなく、たまたまSBIに入社したという感じです。そのとき、ITバブルは終わっていたのですが、まだんだんと上向きになつてているときで、上方がどんどん辞めてしまつて。だから上のポストが回ってきただけの話で、もちろん任せられたミッションやタスクに関しては必死にやりましたけど、自分からプレゼンテーションをしたわけではありません」

相原さんは、女性が大きな組織のポストが回ってきただけの話で、もちろん任せられたミッションやタスクに

関しては必死にやりましたけど、自分からプレゼンテーションをしたわけではありません

ではないんです」

とはいえる。SBIの中で頭角を現していく相原さん。女性が大きな組織の

きなことで生計を立てたいという方が増えています。そういう方は、絶対起業した方がいいですよ。チャレンジしないとわからないから。悩んでいるのなら、やってみたらいんじやないかな。もし、失敗しても傷が浅いうちにやめればいいだけの話。わからないうちは、どんんどん辞めてしまつて。だから上のポストが回ってきただけの話で、もちろん任せられたミッションやタスクに

関しては必死にやりましたけど、自分

からプレゼンテーションをしたわけ

はないんです」

とはいえる。SBIの中で頭角を現していく相原さん。女性が大きな組織の

きなことで生計を立てたいという方が増えています。そういう方は、絶